

はなみずき

川崎市立南菅中学校
学校だより
2025年2月4日発行
第9号

キャリア在り方生き方教育と職場体験

校長 野島隆行

令和7年の学校だより「はなみずき」は本紙が最初になりますので、保護者、地域の皆様には遅い年始のご挨拶となってしまい申し訳ありませんが、今年もよろしくお願いいたします。

さて、学校もいよいよ年度末を迎え、まとめの時期となってきました。3年生は生徒によっては受験が終わり、進路先が決定した者もいますが、多くの生徒は今月中旬が私立、公立のテストとなり、いよいよ勉強も最後の追い込みになっています。1年生は1月13日から2泊3日の長野県富士見高原でのスキー教室が終わりました。入学して初顔合わせの仲間と作ってきたクラスや学年の協力体制等の成果を発揮する行事です。3日間の寝食を共にする生活で友達との仲も深まり、それぞれのレベルでスキー技術も向上させ、達成感が得られ、有意義な時間を過ごしました。

そして2年生は1年次より行っているキャリア在り方生き方教育の中でも重要な取り組みとして位置づけられている職場体験学習を2月6日、7日に行います。キャリア在り方生き方教育とは「社会の一員としての役割を果たすとともに、個性等を発揮して自立して生きていくために必要な能力や態度を育てる教育」です。これまで、自分の将来の夢や希望について考えたり、身近な人から仕事について話を聞いたり、企業訪問を行い各企業の業務内容を調べたりしています。そうしたこれまでの学習を土台にして職場体験学習は生徒が地域の事業所などに行き、実際に仕事を体験することによって働く意義や大変さ、楽しさ等をさらに学ぶ機会となっています。市内の多くの中学校ではこうした取り組みを行っていますが、数年間のコロナ感染症蔓延の時期は人との接触を避けるために中断していました。昨年より復活し、今年度も引き続き行っています。本校では約30か所の事業所をお願いをして生徒の受け入れを了解していただいています。いろいろな事業所がありますが、全ての生徒の希望に合う事業所を用意することは難しいこともあり、ある程度の大まかな希望で体験先を決めています。基本的には2日間同じ事業所に行きますが、受け入れ先の都合もあり、1日ごとに異なる事業所で体験する場合があります。しかしどのような職場で体験しても生徒の事後の感想では「仕事の大変さや楽しさがわかった。」「お客さん相手でもとても緊張した。」「事業所の方々からとても親切にされてうれしかった。」などの感想を聞くことが多くあります。職場体験が生徒にとって将来の自分の職業観を形成し、進路について様々な面から考えるよい機会になっていると思います。また学校や習い事以外の場で初対面の大人と関わり、緊張感を持ちながら、社会人としての常識的な話し方やマナーなどについても学びます。こうした体験を通して生徒たちがまた一歩大人に近づいていくことを期待します。

学校ではこのようなキャリア在り方生き方教育を行っていますが、2年生に限らずどの学年のご家庭においても仕事や自立することについて生徒たちと話す機会を作っていただけるとありがたいと思います。



保護者の皆様には昨年12月の「学校教育活動に関するアンケート」にご協力いただき、ありがとうございました。回答結果については「学校自己評価報告書」作成の資料とさせていただきます。今後、報告書としてまとめたものをお知らせいたします。(学校長)

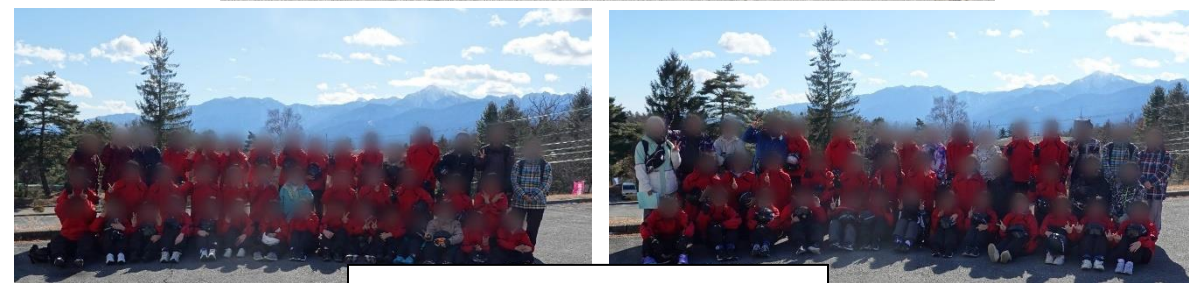
2025年になりました！

2025年が始まりました。1, 2年生は進級へ向けて、3年生は進路決定と卒業へ向けて日々の学校生活を頑張っています。先週まで、国語科で実施した書初めの優秀作品が2階廊下に展示されていました。心を込めて書かれていて、新年の決意が表れていました。2025年も成長していきましょう！



1年生、自然教室へ行ってきました！！

1月13日(月)～15日(水)まで、1年生は自然教室に行ってきました。「一致団結 ～みんなで作る新たな思い出～」のスローガンのもと、実行委員を中心に各係が準備をしてきました。スキー教室では、スキーを初めて体験する人が多かったですが、練習を重ねるうちに上達し、スキーを楽しんでいる人が増えてきました。川崎市少年自然の家での生活は、一人ひとりが係の仕事をしっかり行い、良い雰囲気でも過ごしていました。2日目夜の各クラスのスタンツでは、クラスごとの個性が出た内容で、大いに盛り上がり、青学年としての絆の深まりを感じることができました。この大きな行事を成功させたことを、自信に変えてほしいと思います。



大きな成長につながりましたね☆